

校長室から

太良高校に学ぶ

今年の「慈眼祭」も、お蔭様で十分楽しんでいただけた感動的な催しとなりました。ご協力、ご来校いただいた皆さまに、心からお礼申し上げます。

さて私は、その「慈眼祭」の翌日、代休を利用して佐賀県の太良高校に行ってきました。太良高校は諫早市に隣接する佐賀県藤津郡太良町にあります。開校は昭和52年（平高は50年）で、県の南端にある小規模校（1学年2クラス）という点だけでなく、定員割れが続き、平成20年3月には他校との統合案が発表されたという点もよく似ています。平高の場合、噂だけで、まだその発表はありません。

学校訪問をした理由は、その発表後の動きに大変興味を持ったからでした。

統合（閉校）が取り沙汰されていた頃は、生徒の服装や品行の悪さで、かなり評価の低い学校だったそうですが、5年後の現在では、志願倍率が定員を上回るだけでなく、生徒の生活態度も落ち着き、地域の評判もぐんと良くなっているというのです。

そのきっかけになったのは、統合が発表されたからの地域の動きでした。地元太良町から強い存続要望が上がり、県が「従来の全日制高校では十分対応できていない生徒」に教育の機会を提供する学級を1学級設けて県内全域から生徒を募ることにし、従来のクラス1学級との1学年2学級80名の単位制高校に改編されることになったのです。



県に新太良高校設置のための準備室もでき、21・22年には文科省の「特別支援教育総合推進事業」の委嘱を受けて先生方の研修も進められ、平成23年にモデル校として新たなスタートを切りました。

様々な問題を抱えた生徒たちを受け入れるのですから、先生方だけでなく地域の方々の不安も大きかったと思われます。しかし結果的に学校は落ち着きました。中には片道2時間半かけて唐津から通学している生徒や地域の家庭にホームステイする生徒もいて、利用する駅の駅員さんをはじめ地域の方々にもよくしてもらっているそうです。

JRの通っていない平戸高校が、太良高校の後に続くことは簡単にはできそうにありませんが、太良高校に学ぶことはたくさんあるように思います。



小学校児童作品（慈眼祭にて展示）



第39回文化祭「慈眼祭」

STEP～未来への軌跡～

10月20日(日)、第39回文化祭が行われました。多くの皆様にご来場いただき、ありがとうございました。生徒達の活気ある様子をご覧ください。



平高学習田 稲刈り

10月4(金) 6月の田植えから5ヶ月。今年もりっぱに実りました。収穫した米でもちつきをし、卒業生に贈られます。



11月の主な行事予定

- 11月1日 (金) 心に響く人生の達人セミナー
漢字検定
- 5日 (火) 自動車学校説明会②16:30～
- 6日 (水) 防災避難訓練 進学相談会 (2年)
- 8日 (金) 上級学校訪問 (1年)
- 9日 (土) 三地区PTA (9:00～佐々)
- 21日 (木) 考査時間割発表
- 24日 (日) 全商ビジネス文書実務検定
- 28日 (木) 2学期末考査 (～12/3)
四者面談 (1・2年)